第2学年 技術・家庭科(家庭分野) 学習指導案

豊能町立吉川中学校

授業者：(T1)家庭科担当教諭

(T2)学校栄養職員

１． 日　時　　　　　　　　令和5年11月10日 (金) 第4校時 (2－1)

２． 学年・組・生徒数　　　2年1組　31名

３． 場　所　　　　　　　　2年1組教室(1号館4階南側)

４． 単　元　名　　　　　「持続可能な食生活をめざして」 家庭・技術 家庭科分野

５． 指導上の留意点 ～ 食育とのかかわりにおいて ～

　　(1)　教材観

「食品ロス」という言葉は、近年メディアや、SDGsでの取組み等で多くの子どもが知っている。 しかし、「食べ物を捨てることは、良くないことだ」「もったいない」という表面的な理解にとどまっている。そのため、自分の食生活が食品ロスの要因となり得ることや、食生活の積み重ねが食品ロスに繋がり、社会的問題に繋がっていることまでは考えが及んでいない。今回、国内だけでなく、国外の食品ロスの取組みを知ることで、食品ロス問題に対しての取組みを学び、食品ロスを自分事として考えさせたい。

　　(2)　生徒観

※個人情報のため削除

　　(3)　指導観

給食に関しては、給食開始当初(平成26年度)よりは残食率が下がっているものの、残すことへの抵抗感が少ない生徒も多い。また、SNS上では写真や動画を撮るために食材を無駄にしている人もいる。今回、食品ロス問題に向けての取組みを知ることで、日本の食品ロス問題を深く考えるきっかけにさせたい。また、身近な給食の残食の問題にも気づかせたい。

７．　本時の目標

○食品ロスについての関心を高め、自分事としてとらえ、行動できるようになる。

８．評価の観点

　・世界の食糧問題に興味関心をもつ

・自身の食生活が食品ロスとそれに付随する社会的問題とも関係していることに気付く。

　・食品ロスを減らすために、主体的に行動できるように考える。

９．本時の展開

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習効果 | 指導上の留意点 | 準備物・資料 | 目標・評価 |
| 導入 | ●前回までの学習の振り返り(3分)  ●日本での食品ロスについて知る(５分) | ○前の授業で回収したワークの返却する  ○SNSにあげている食べ物の写真をみせる  →食べられていないまま捨てられている写真をみせる  〇カフェでの食べ物の写真をみせる  →店主が「食べずにお帰りになることはご遠慮ください」と投稿したものをみせる | アイスの写真  ＳＮＳの投稿写真 | 目標  日本の食品ロスの問題に気づく |
| 展開 | ●現状を知る(5分)  ●調べる(25分)  ●発表(10分) | ○今の世界の状況をみせる  ○この日本でできることは？  →食品ロスを減らすこと  〇食品ロスの現状や、行っている取組みについて調べる。  ・一つ選び、発表原稿を作成する  〇ペアで自分の調べたことを発表しあう  〇全体で発表  ・調べた中で、写真やスクリーンショットを１つ選び、Skymenuで送る  写真をスライドショーでながしながら、気になったもの・多かったものを発表させる。 | ハンガーマップ、世界の食料ロスと廃棄量  ワークシート | 目標  興味関心を持つ。  評価  積極的に調べて参加している。 |
| まとめ | ●まとめ(5分) | 〇今日の感想を書く |  | 評価  食品ロスについて考える |

１１．　準備物

パソコン、ワークシート